

福祉は文化

施設内美術館 新光苑美術館

第5回 村山直儀(悲しみから希望へ)歩む道

洋画家・村山直儀は語る。「私自身制作を重ねて行くほどに、油彩画の恐ろしいほどの深さと魅力にとまどいを禁じ得ない。その上で絵画という芸術、この大きなかたまりは他に類を見ない永遠のテーマであり、およそ宗教、哲学、科学を超越する学問である、ととらえるべきではないだろうか。」(「積古場のオクサーナをめぐる」より)。



村山直儀(むらやま なおよし、1936年-)
《悲しみから希望へ》(パレエ「シンデレラ物語」より)2010年
油彩 M20

東京都出身の村山直儀は、20代後半から本格的に創作活動を開始し、純粋絵画の制作・発表を積極的に続けた後、シュルレアリスムへの傾倒を契機として、1972年に渡欧した。ロンドン・テイト・ギャラリーにおいて、ウィリアム・ターナーの作品に感銘を受ける。以後、ロマンティズムにも通じる躍動感ある絵画を制作し、多様な作品群を描き重ねる中、ロシア・パレエを題材とした取材旅行を敢行したほか、ウクライナ、ハリコフ市のハリコフ舞踊学校子バレエ団「シンデレラ物語」を取材した。その成果を連作絵画として発表し、この試みが国内外から高い評価を得た。写実的な人物画を得意とし、バレリーナオクサーナ・クチュルクや歌手俳優・本田美奈子などの舞台上描写画で知られるほか、源義経などの勇壮な「武将画」や「伝説画」など高い技法を駆使した幅広い題材の作品制作には多くの関心が寄せられている。

美術評論家の室伏哲郎は「ポスト・モダン以降、具象も、非具象も、また、抽象画も幻想画も、さらには半具象も、すべてが混迷と硬直で行き詰まった日本の美術世界で救世主たり得るもの、その一つは新古典主義の勃興だろう」と言及した上で、村山直儀の美術を「日本社会の社会的なネオクラシズム回帰への一思潮」と解釈し、現代美術界における一つの光明を捉えている。

いわゆる新古典主義への回帰を予期した村山絵画群は、美術の多様性が求められる中での同時的な複雑怪奇な混迷に対して、確固とした美学的信念を表明する貴重な意義を有している。

その可能性の根源は画家の道具である筆への意識と結びつき、村山が語った次なる言明は鮮やかな光を発するものである。「創作の場において、イメージを具体的に表現する方法の一つとして、筆は頭脳であり、武器でもあったりする。それは究極かつ最強の道具といえる。筆の持つ威力は繊細にして大胆、その使用範囲は両極に適合し、筆によるクレイジングは、油彩画のマチエールを際立たせるのを容易にする。一言で言えば、それは《キャンパスの中に絵がある》という概念を超えて、《筆の中に絵がある》と私自身そう思っている」と。

筆の中の絵という観点から着目すると、まさしくパレエ作品『シンデレラ物語』を描いた連作の一つ「悲しみから希望へ」は、舞踏のダイナミズムが筆先から画布に流れ込んだ名作といえる。村山はオクサーナ・クチュルクというウクライナ出身の麗麗なダンサーに理想を見ている。彼女はキエフ国立パレエ学校(ウクライナ)を卒業後、ムソルグスキー国立パレエ団(サンクトペテルブルク)に入団し、ボルドーオペラ座パレエ団のソリスト及びエトワールエトワールに就任。モスクワ国際パレエコンペティションなどで数々の栄冠を手に入れている。

「悲しみから希望へ」をはじめとする村山のパレエ作品の根源には、彼女の舞踏と姿が存在していることは明らかである。舞台上の三人三様の美しい輪郭を描き上げ、基礎的方法を踏まえつつ大胆な色構成による表現力の高さは特筆すべであり、あたかもパレエ音楽の軽快な響きを感じさせるかのようである。そして、「悲しみから希望へ」という題名を見ると直感的にロシアに侵攻されたウクライナの情勢を連想せざるを得ない。また村山が積み重ねてきた芸術世界とも通じるものがあるように思える。芸術とは平和とともに存在し得る賜物であることを改めて認識させるのである。

美術史家 山下祐樹

熊谷駅に ストリートピアノ常設

誰でも自由に弾けるストリートピアノが、昨年12月24日、熊谷駅コンコースに設置された。鉄道の駅に設置される「駅ピアノ」は埼玉県北で初めて。「街を音楽で盛り上げよう」と立ち上げた市民委員会による「熊谷駅ピアノ」実行委員会が、市立江南幼稚園の倉庫で10年間眠っていたピアノを借り受けた。

ピアノに施されたデコレーションは、実行委員でグラフィックデザイナーの熊谷明美さんが「熊谷染型紙模様」と「ラクビーコート」を組み合わせた華やかなデザインを考案。「熊谷ならではの和の芸術とスポーツ、音楽、それぞれの文化をつなげた」

駅ピアノの使用時間は9時〜20時。演奏の目安は1人約10分。



オープニングイベントで演奏するピアニスト森田義史さん
華やかなデコレーションピアノは熊谷明美さんのデザイン

発案者の野澤さんの思い

夢が実現しました。数年前から、友人たちと「熊谷駅にピアノを置きたいね」と話しておりました。3年前熊谷駅に相談に行きましたが、コロナ禍様々なハードルが高く、「もう少し待とう」と。そして昨年J.R熊谷駅、熊谷市のご理解と協力をいただき12月24日にスタート、江南幼稚園の倉庫にあったピアノに新たな命を吹き込むことができました。皆様に感謝です。

吉田・櫻井税理士法人
税理士 吉田 貴之
税理士 櫻井 富美子 税理士 吉田 嘉高
〒360-0014 熊谷市箱田2-2-8
TEL:048-521-0334 FAX:048-521-4506

令和10年2028年 開業予定 道の駅「くまがや」 仮称

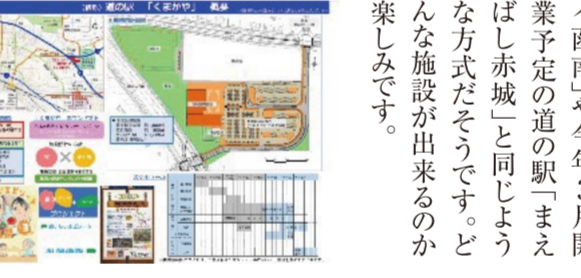


掘立柱建物跡
仮称・平安時代
掘立柱建物跡
仮称・平安時代
掘立柱建物跡
仮称・平安時代

掘立柱建物群と四面廂建物
平安時代、一般の人はまだまだ堅穴の住居で暮らしていたそうです。ですから、掘立柱建物は、主に役所や寺院等の特殊な建物であったそうです。今回そういった建物で9棟(令和3年度末時点)も見つかっています。しかもその内3つは四面廂建物(しめんびき)です。といった特殊なもので、役所やムラの中で中心の建物だった可能性があります。ちなみに令和4年度は、昨年度からもっと数が増え、20棟になりました。こうした建物群が見つかったことで、ここはとも重要な地域であった可能性があると推測されるそうです。また、その時代のもと思われ土器には「中」という文字が墨で記されていること、幅30メートルの河川跡も見つかっていることから、何等かの交易に關係していた場所であった可能性も考えられるそうです。今はあまり人が住んでいない地域ですが、その昔、どんな生活が営まれていたのか、ロマンを感じます。



2月25日(土)
遺跡見学会・発掘体験
※詳細は熊谷市ホームページを参照してください。



池上遺跡の発掘調査、出土品の整理・研究

熊谷市は、旧石器時代から途切れることなく歴史が続いている遺跡の宝庫のまちです。昔から住みやすいところだったという事でしょう。ここにどんな遺跡があるか、それが目でわかるウェブサイトがあります。

「埋蔵文化財包蔵地(遺跡)のポータルをクリックしてご自宅の住所を入力すると、ご自宅の下に遺跡があるかどうか分かるようになります。古墳のポータルもあります。古墳のポータルも活用ください。

令和10年3月開業予定の(仮称)道の駅「くまがや」は熊谷の小麦文化を中心に(熊谷流の農業食文化)を核とした「食」のテーマパークを形成することを中心に掲げ、収穫や調理といった体験や食を通じて、子どもの成長を支援するなどテーマに、準備を進めています。民間の資金やノウハウを活用してより質の高いサービスを提供するPFI方式を採用しています。道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」や今年3月開業予定の道の駅「まえばし赤城」と同じような方式が出来るのか楽しみです。

国道17号バイパスと国道125号交差点辺りに、令和10年(2028年)開業を目指し、「(仮称)道の駅「くまがや」」整備の準備が着々と進んでいます。この辺りは埋蔵文化財包蔵地(遺跡)や遺物等の文化財が埋蔵されている土地として知られている場所です。池上遺跡と呼ばれる遺跡。17号バイパス工事や125号工事の時は、埼玉県により発掘調査が行われましたが、今回は道の駅整備にあたり、熊谷市が発掘調査を行っていただきます。現在、熊谷市の池上遺跡の発掘調査としては2回目、3年度目を迎えます。この3月で調査終了の予定です。今回の発掘調査により、この辺りには大きな中核的なムラがあった可能性があることがわかってきたそうです。

弥生時代中期(およそ2千年前)の遺跡

発掘調査では弥生時代(およそ2千年前)の墓塚環(かんこう)集落の区画の役割をしっかりと考えられる溝、古墳時代(4世紀)の排水施設とされる溝を備えた周溝持塼穴建物群、平安時代(8世紀)9世紀の掘立柱建物群、そして、古墳時代(平安時代)まで流れていた、何と幅30メートルの河川跡が見つかっています。どれも価値あるものですが、この中で特に注目される、掘立柱建物群について、担当をされている塚本隆さんと大野美知子さんに少し詳しくお話を聞きました。

熊谷市は遺跡の宝庫

熊谷市は、旧石器時代から途切れることなく歴史が続いている遺跡の宝庫のまちです。昔から住みやすいところだったという事でしょう。ここにどんな遺跡があるか、それが目でわかるウェブサイトがあります。

道の駅「くまがや」の施設設計方針は食×子ども

令和10年3月開業予定の(仮称)道の駅「くまがや」は熊谷の小麦文化を中心に(熊谷流の農業食文化)を核とした「食」のテーマパークを形成することを中心に掲げ、収穫や調理といった体験や食を通じて、子どもの成長を支援するなどテーマに、準備を進めています。民間の資金やノウハウを活用してより質の高いサービスを提供するPFI方式を採用しています。道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」や今年3月開業予定の道の駅「まえばし赤城」と同じような方式が出来るのか楽しみです。

一粒の麦句会

俳句は二人称の文学です。作者の見た物、感じた事、経験した事、などを季語を含めた七音で詠みます。世界で最短の詩であるため、全てを言葉で表すことは、難しいので、そこを季語という季節の言葉の持つ共通のイメージに頼って詠うのです。

「一粒の麦句会」では、毎月各自兼題一句と当期雑詠一句、計四句を出句しています。今回は、令和四年五月から十月の作品より各七句を選んで、発表させていただきます。

飛鳥 蘭

ゆうえん
埼玉県熊谷市の特産品
0120-136-444
亡き人に心をこめて JA くまがや指定

立正幼稚園
令和元年度より認定こども園立正幼稚園となりました
2才児教室 Little Risky 3才児教室 Risky Kindergarten
森のある幼稚園ようこそ
http://www.rissho.ed.jp/
TEL.048-536-1788
TEL.048-536-1682
FAX.048-536-2168

吉田・櫻井税理士法人
税理士 吉田 貴之
税理士 櫻井 富美子 税理士 吉田 嘉高
〒360-0014 熊谷市箱田2-2-8
TEL:048-521-0334 FAX:048-521-4506

くぼじまグループ くぼじまクリニック
KUBOJIMA CLINIC
理事長・院長 大島 讓二
●総合内科(かかりつけ医)
●人工透析
〒360-0831 埼玉県熊谷市大字久保島1785-2
電話:048-533-7511(代) FAX:048-533-4606
http://www.kubojima.com/home.html

山光化学株式会社
キレイな水を飲んでいますか?
貯水槽清掃 塩素消毒液発売・その他
塩素減菌機発売 貯水槽高梁水槽塗装
除菌ろ過装置 冷暖房・衛生設備
パイプクリーニング 設計 施工
レジオネラ対策推進協議会会員
〒360-0111 埼玉県熊谷市押切795 番地1
電話 (048)536-8711(代)
FAX (048)536-8700
E-mail sankou-8711@earth.ocn.ne.jp

株式会社 平松
代表取締役 日向研一郎
歴史が育む無限の可能性...地域密着・食品卸売業
原材料食品は包材まで御用命下さい
We are HIRAMATSU
〒360-0801 埼玉県熊谷市中奈良1797-1
TEL : 048-521-0026
●ビッグベアショッピングモール (埼玉県熊谷市代(1067))
●ケーズデンキ・イオンス・スポーツオーソリティ・オキタ食品(大塚・大野)
●平松運輸株式会社 (埼玉県熊谷市中奈良1797-1)

熊谷の風土と歴史の香りをお届けします
熊谷産小麦・米 100%使用
小麦の語り
近江屋酒店
定休日:日曜日
http://www.oomiyaya.com/
TEL.048-521-0109 FAX.048-521-3198

春になると小江川地区の里山に1000本以上の桜が満開になる。山が、面を飾られる。その中に「小麦の会」のプレートが付いた桜が、本締めに咲いている。今春、桜狩りに出かけませんか? (R)